

# 母校OBらで日野レスリングクラブを結成 めざせ東京五輪、滋賀国体



第1回日野町少年少女レスリング大会



この大会を開催するにあたって、以前から活動していたスポーツ少年団など幼少時から成人までのいくつかの指導組織を一本化し、「日野レスリングクラブ」が結成されました。

結成にあたっては、歴代総数250人を超える本校レスリング部OBの努力や町行政、商工会などの支援がありました。

会長には昭和58年（1983年）の本校赴任以来一貫して指導し

てこられた南敏文先生（59・大津市在住）が就任。副会長には教え子1期生の園田崇さん（昭61卒）も全国大会で活躍の巧・新・平3兄弟の父親、町内徳谷（在）が選出されました。

他にも事務局をもつ高橋明善さんは平成3年卒。各コースの代表者も、幼児コースに清水隆之さん（平13卒）、スポーツ少年教室（小学生）に門坂仁さん（同）、わたむきジュニア（中学生）に山口光通さん（同）、町レスリング部（成人）北岡秀王さん（平15卒）をはじめ、コーチ陣にも加納和彦さん・昭彦さん兄弟（平15・18卒）や女子の新海真美さん（平16卒）などが顔をそろえています。

これらのスタッフで幼少期から一貫した指導で選手育成に励むとともに、レスリング以外にも子どもたちが楽しめるイベントを取り入れ、豊かな心や社会性を身につけられることを願っています。

2020年の東京五輪をめざす園田新さん（平25卒）・平さん（平26卒）を先頭に、清水博之さん（平16卒）や倉本一真さん（平17卒）らも有望です。

さらに、2024年には二巡目の滋賀国体が予定されており、日野レスリングクラブから活躍する若い選手をみんなまで応援していきたいものです。

クラブの指導理念は「一念通天」。レスリングでの活躍は地域の活性化にも貢献していく——同窓生の熱い思いが着実に実現しつつあります。



日野町スポーツ天国の日（2015）にも活躍



体づくりとレクを兼ねて綿向山（1,110m）へ

同窓会報  
溪泉

第7号

題字  
住井前同窓会長

発行者  
日野高等学校溪泉同窓会  
滋賀県蒲生郡日野町上野田150

印刷所  
株式会社サラト  
姫路市北条宮の町172  
TEL 079-284-1380



# 母校(同窓会)からの情報発信『溪泉』

溪泉同窓会 副会長 藤澤 政男(昭和39年卒)



今年の夏は、記録的な猛暑とオリンピックで日本選手の活躍に熱く燃えた・文字通り「暑い」「熱い」夏でした。ようやく秋を感じる頃となりましたが会員皆様にはご壮健にてご活躍のことと拝察しお喜び申し上げます。平素は溪泉同窓会活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

同窓会の重要な活動のひとつに、母校(同窓会)から会員皆様への情報発信があります。毎年発行の同窓会報『溪泉』、これは日野高校の今の様子、生徒のクラブ活動や進路のこと、各界で活躍中の卒業生を紹介、随時開かれるクラス会等の様子・等々、学校や同窓会のことを広く会員皆様にお知らせし少しでも母校への関心を深めていただきたいの思いからであります。平成二十二年に第一号が発刊さ

れ、その後途切れることなく継続発行され今回第七号としてお届けしています。ぜひ皆様に読んでいただくことを願います。そして皆様からの感想やご意見、また投稿なども寄せていただければ大変嬉しく思います。年一回の発行ではありますが、母校に関する情報を共有することにより会員皆様との絆が一層深まることを期待するものです。

ところで発行にあたっては、印刷、郵送費等多額の経費を必要とし、継続発行のための財源確保が大変厳しい現状にあります。こうしたことからまずは読んでいただき、母校への思いとともに発行協力金についてもご理解、ご協力いただければ大変嬉しく思います。

「蒲生野に文化の使命をにない一世紀」歴史と伝統をはこぶ私たちの母校日野高校は、ふる里日野地域の「宝」でもあります。日野高校の存続・充実・発展のため会員皆様のお力添えをよろしく願っています。

## 地域に根ざした高校として

滋賀県立日野高等学校 校長 吉澤 松美



卒業生の皆様におかれましては、ますますご健勝で各方面にてご活躍のこととお喜び申

上げます。平素は母校、日野高等学校のために格別の

ご支援、ご協力を賜り、まことにありがとうございます。私は本年4月に着任いたしました吉澤松美と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本校は平成16年に総合学科へと学科改編が行われ、平成18年に全学年総合学科の

## 学校の現況

### 生徒数

課 程			学 科			通学区域		
全日制			総合学科			県全域		
第1学年			第2学年			第3学年		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
76	84	160	78	80	158	66	89	155
合計								
220	253	473						

### 卒業生数

校 名	男	女	計
町立日野女子手芸学校		65	65
町立日野実科高等女学校		167	167
町立日野高等女学校		77	77
県立日野高等女学校		1,962	1,962
高校併設中学校	29	108	137
県立日野高等学校 (県立中央高等学校日野校舎含む)	6,598 商(1,078)	7,649 商(2,575)	14,247 商(3,653)
県立日野高等学校(総合学科)	630	907	1,537
総 計	7,257	10,937	18,194

高校になり、現在10年が経過したところです。ご存じのように本校は、その前身にあたる日野町立日野裁縫学校が明治38年(1905年)に設立されて以来、今年112年目を迎える県下でも屈指の歴史と伝統のある高校であります。戦前は女子教育の名門校として評価を受け、戦後は学制改革により、昭和23年に男女共学、普通科の滋賀県立日野高等学校となりました。その後、昭和36年には商業科が設置され、平成の時代になり、社会の変化と時代の要請を受けて総合学科の高校になりました。

この総合学科というのは平成6年に全国に導入されはじめた一番新しい学科です。現在、総合学科は全国に370校あまりが設置されており、滋賀県にも県立7校、私立2校があります。本校は東近江地域唯一の総合学科高

校となりました。総合学科の大きな特徴は、望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育が充実していることと、多くの選択科目の中から自分に合った科目を選択して勉強できることです。

現在、教育、とりわけ高校教育においては、高校大学接続に係る入試や教育内容の改革をはじめ、主権者教育や特別支援教育等々、多くの課題がありますが、これまで同様、同窓生の皆様や地域の皆様に励まし支えていただき、地域に根ざした高校として使命を自覚し、職員一丸となって教育活動に精励して参ります。

卒業生の皆様には、今後とも本校の教育に格段のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに本校のいっそうの発展にご協力を賜りますようお願い申し上げます。



活躍してます  
同窓生

# 入館者はこの10年で3倍増

近江日野商人館 館長

満田良順さん

近江日野商人館は、町の中央部大窪にある国登録有形文化財旧日野商人・山中兵右衛門家の本宅を活用した資料館で、1981年昭和56年にオープンしました。

今回は、この館の二代目館長としてさまざまな企画展の開催や、日野商人の調査・研究を進めておられる満田良順さんをお訪ねしました。真夏の暑い日でしたが、風通しの良い中庭に面した部屋で、文化財の土蔵や不景気時に失業救済目的で新築されたお助け普請の奥座敷などを見ながらお話を伺いました。

館長に就かれた経緯を。

中学の社会科教員で、瀬川欣一さん(注・町教育長や県誌『湖国と文化』編集長など歴任、郷土史家。1928〜2004)のお話とか興



みつだ りょうじゅん さん

## プロフィール

本校1965年(昭和40年)3月卒。大谷大学、同大学院を卒業後、県内の小中学校で社会科教員として勤務し、2005年3月、日野中学校長として教職生活を終える。

2006年度から、日野町歴史民俗資料館・近江日野商人館館長。現在に至る。日野町西大路在住。浄土真宗大谷派教専寺住職。

味があって、教科書だけでなく子どもたちに郷土史も教えてやりたいと思っていたのですが、日野商人のことがよくわからない。私の小学1年の時の担任で前館長の正野雄三先生から「後任に」と言われたのですが、辞退しました。それで、退職後1年間は(住職以外には)何もしていません。

——説得を受けて平成18年に就任されてからの活躍ぶりは、広報や地元紙、さらにはマスコミでもよく取り上げられました。

この仕事に就いてみると、日野商人に対する世間の評価が低い。近江商人と言えば、五個荘であり、八幡です。それはなぜかというと、日野は250年前の宝暦の大火で文書類がほとんど焼失している。これではダメだと思っていたのですが、関東には今も日野の関

係の店や地名が残っている。これだ、と思い、

近江国外の地誌や村史の類を調べたんです。

そして、「関東兵衛の会」を作って群馬から中山道を車で移動してみると、各宿場に

日野商人の足跡がある。江戸初期の群馬の庄屋の記録に「日野商人が村にきた」とある。日野は当時の梶の8大産地の一つだった。鳥取産の材木が関門海峡から瀬戸内海、紀伊水道を経て伊勢湾へ、そして鈴鹿峠から日野へ運ばれた。梶と言えば奥永源寺のイメージがあるが、そこは木地の祖神惟喬親王を祀る地で、実際に梶を作っていたのは日野の職人。日野商人は蒲生氏郷の転封で松阪・会津へ移って、というが、実はそれ以前に梶職人の時代があって、その後合衆の時代になっていくんです。

——五個荘・八幡中心の「近江商人」観ではなく、もつと「日野商人」に注目を、と。梶商人として最も古くから活動し、人数・店舗数など一番多いんです。五個荘は明治以降が中心で、いわば「滋賀商人」と呼ぶべきでしょう。

それから、日野は商売の仕方がピカイチです。大当番仲間といった商人組合組織を作ったり、今、世界経済で話題のCSR(商業道德)の大切さを300年前から実践しています。「陰徳善事」といって社会貢献を重視しました。薬産業でも富山の売薬のような置き薬はやらず、取り次ぎ販売方式、千両店という商法はここにちのチェーン店、コンビニですよ。



——2階の常設展は盛りだくさんですが、話題の展示物をお聞かせください。

ここで見られないものが6点あります。蔵から発見され新聞報道された国産最古のワイン、長崎貿易で輸入された石薬、二宮金次郎直筆の領収書、赤穂浪士討ち入りをその数時間後に留守家族宛に書いた手紙、太平洋戦争最末期に軍の命を受けて試作され流通には至らなかった陶製のお金、そして日本最古の「年金」記録。関東のお店で45年働いたら退職後も保障、没後は奥さんも保障される、と。水洗トイレやバリアフリーの導入など、山中国家はすごい先進的でした。

今後どのようなことを？

日野商人は、曳山や蓄音機に代表される都会の文化をこの町に流入させ、近代以降も二男坊・三男坊に関東の店に就職先を提供し、経済効果、文化的な地域貢献ということを考えてきた。日野商人はまだまだ研究の余地が大きいですね。

お陰さまでこの10年で入館者は3倍になりました。県外の人が一番多い、次に県内の他市町の人、残念ながら日野町の人が一番少ない。企画展をし、常設展示も常に変えているので、何度でも来てください。

——どうもありがとうございました。

8月24日収録。

インタビュアー・構成・文責 加藤和幸

(写真は館内の常設展示風景)



# 学年で、クラスで、部活動で 花ひらく同窓会 2015～2016

昭和42年3月商業科卒業同窓会

## 埼玉、東京、愛知からも参加

4年に一度の同窓会、今年は近江八幡市のホテルニューオウミで開催しました。32名のうち遠くは、埼玉、東京、愛知県からと5名の参加をいただきました。記念撮影の後、東近江市の東幹事長のあいさつから始まり、東京から参加の方に乾杯の音頭をとってもらい懇親会に入りました。

懇親会に入ると一気に50年前にタイムスリップ、出される料理やお酒をいただきながら、「仲間で50年前にはキャンプに行ったな、冬には京都のスケート場まで行った」ことなど時間を忘れるくらい話をされて

陸上部OB会

## 上野先生の傘寿を祝うつどい

昭和46年から51年までの間、上野幹雄先生(旧姓・大西)に陸上部で指導を受けた卒業生が、10月1日、「上野先生の傘寿を祝うつどい」を開催しました。今までも先生の退職時、古希、喜寿と節目節目に、そのことを理由にOBが集まり、先生を囲み親睦交流を深めています。6学年だけのOB会ですので、気楽な雰囲気で行われています。

今回もまだまだ元気な先生を囲み、当時の部活動のことや近況の話に花が咲き、楽しいひとときを過ごすことができました。8年後には「米寿を祝うつどい」に全員が参加できるように、健康第一を願い、再会を約束しました。

(昭和51年3月卒 奥村友之)



32名の参加とやや少なかつたですが、次回には元気な人なを誘い合っして参加しようと思いを誓いました。同窓会に楽しんでいますね！



今年も  
がんばりました

## 野球部OBシニア大会



第15回滋賀県高校野球OBシニア大会が大津市皇子山球場と大津市総合グラウンドで開催されOBシニアの選手17名も参加しました。

このシニア野球は50歳以上を対象に、投手は60歳以上3回まで塁間の距離は1メートル短い野球ですが、日曜日の朝日野川ダム公園グラウンドで10回練習試合にのぞみました。滋賀県下のOBチームは18チームの参加があります。

当日の成績は大津高校2―19日野高校、日野高校9―4石山高校と2連勝し高島高校に次ぐ準優勝でした。何年ぶりの2連勝にチームメートの盛り上がりも最高でした。後輩の球児たちにもエールを送ることができました、頑張ってもらいましょう。

50歳以上のOBで野球をやろうと思う方はOBシニア事務局(斉藤良彦45年卒業TEL0748―52―0589)まで連絡下さい。青空の下楽しく野球をやりましょう、連絡お待ちしています。

(42年卒 外池十三)

新聞班 OB会・OG会

## 年代を越えて一堂に集う

平成27年11月29日(日)わたむきホール虹の和室で、初めての「日野高校・新聞班OB会/OG会」を開催した。かねてからの「一度、新聞班の同窓会をやりたいね」との声に応えて、池田信一君(昭和43年卒業)を中心に、對中芳喜君(昭和44年卒業)市田悦子さん(昭和43年卒業)が準備し、日野在住のOB、OGとも協力して参加の呼びかけを行い、実現を見たものである。

その結果、当日は昭和35年卒業から昭和46年卒業までの12年次にわた



# 昭和43年3月卒業E組同窓会

## 四十八年ぶりに歌った校歌斉唱

昭和四十三（一九六八）年三月に高校を卒業して以来、皆どうしているのかなと思ひ、同級生に声をかけたら、開催しようとい気に幹事会が発足する運びとなりました。六月十八日（土）にグリーンホテル日野で開催しました。遠くは長野県から帰省して参加してくれた方もおりクラスの仲間二十五名が再会する事が出来ました。乾杯の後、それぞれ席を移動しながら、名札を確認して、お久しぶりの声が聞こえるなか、会話が弾み時間が経つのも忘れて、出て来る料理にあまり手がつかないままで、

思います。今回、最高のチームワークのとれた幹事会でした。有難うございました。（中井利郎）



日野高校 S.43卒 3E同級会 平成28年6月18日  
ビジネスグリーンホテル日野

# 昭和44年卒業3年C組同級会

## 恩師平木先生を囲んで

### 楽しく開催

平成28年1月3日(日)日野グリーンホテルにて

1月3日正午の開始に合わせ参加者がホテルに集まりました。幹事の参加お礼と挨拶に続き山田くんの乾杯の音頭で宴は始まりました。なぜか毎度出てくる当時のいたずら話（掃除道具箱に）（電話ボックスに）なんか今でも誰かさんやつてそう。その頃の平木先生は放課後、休みでも色々みんなに関わって下さいました。高じて今も「先生」付けずに「平木さん」と呼ぶみんな（すみません）。そしてこれも恒例になった半玄人

の花原君による写真撮影。賑やかに宴が進む中、提案があり、これからクラス会どうする？の話題。参加者が少ないのは正月時期のせい！わいわいと話しているうちにお開きの時刻がきて全員にアンケート実施をしようと決めた宴を終えました。後日アンケート実施、検討結果次回の開催を「卒業50周年の3年後春」に決定しました。次回の多数参加を心待ちしています。（栗田真知子）



る19名が、元気な姿で集まった。なにしろ、年代に幅があるので、初対面が多く、また同年代の人たちも久々に会って「あなた、誰？」といった感じ、で、「同年会」とは違った、趣のある会となった。懇談の中では、全国の新聞班が集う「高新聞」での高連「での高連」の学校新聞コンクールで、「日野高新聞」が他の強豪と大いに競い合ったこと、発行のたびに、京都にある印刷所（ダイヤ印刷）へ授業を「公休」にしてもらって校正作業に行ったことなど、お互いの共通の体験を通じての話題で、楽しかった思い出に花が咲いた。当時の顧問である伴善也先生は「高年齢でもあり、会へのご出席は叶わなかったが、参加者の寄せ書きの色紙をお贈りし、大変喜んでいただいた。今回は、名簿の不備もあり呼びかけが漏れた方もあり、申し訳なかったが、次回開催のときは名簿も整備し、ぜひ、多くの方々にお集まりいただきたいものと思っています。」



（昭和35年卒業 西村吉弘）



全国的にも珍しい横書き新聞で注目された（昭和40年発行）

# 思い出の 日野駅

旧職員 鈴木 俊亮

今年2016年は、近江鉄道開業120年、日野駅改築100年の節目の年にあたります。由緒ある木造駅舎として映画のロケなどにもたびたび使われてきましたが、老朽化が進み、保存をめぐって話題になっています。

そこで本校旧職員の鈴木俊亮さんに、日野駅の歴史的な流れや、ご自身の思い出をエッセー風に綴っていただきました。

私は1973年から1983年、つまり昭和48年から10年間日野高校に勤務していました。車の免許を取得したのが1973年の10月、それまでの半年、八日市駅から近江鉄道に乗り、日野駅に降りました。

その前の3年間は甲賀郡(当時)にあった甲南高校に勤務、毎朝日野駅から乗ってくる通勤客や高校生に出会った。甲南高校には日野中学から進学する生徒もいた。日野町内から甲南高校に勤務している「同僚」もいた。

1970年代の初め、車の免許を持っていた人は「ごく少数」だった。16歳からバイクの免許は取れた。日野駅まで「バイク」という生徒がいた。高校生の「バイク事故」が多



かった時代。「3ない運動」が起り、全国的に「バイク登校は禁止」になった。

普通科の学区制があり、日野町から甲賀郡内の高校普通科の進学はなかった。307号線の整備が始まった。峠を越えて、八日市高校まで「自転車通学」者もいた。1968年から2年間、八日市高校農業科に勤務していた。日野駅から八日市駅に通学する高校生もいた。

私が実質日野駅で乗降するのは1973年、今から43年前だ。今でも時々、日野の駅前を通る。昔と変わらない「駅舎」に出会うと「ほっと」する。峠を越えて「田村神社」(土山)までのバス路線があった。「北畑」「近江

八幡」行きのバスターミナルだった。大型スーパーが出店していなかった時代。日野の町民は近江鉄道を利用して、水口・八日市へと「買い物」に出かけた。文化祭・体育祭の「材料」を買うため、日野高校生は八日市まで出かけた。近江商人の出た町だが、その頃の日野町には「活気」がなかった。

近江鉄道建設の出資者に日野商人も多くいた。最初の計画では日野の中心部に鉄道が通る予定だった。草津線の「寺庄駅」に到達するルートだ。測量の結果、勾配がきつ、水口へと変更された。近江鉄道の八日市・日野間の乗客が少なかった。甲南高校時代、近江鉄道最終列車に時々乗った。日野駅で大半が降り、八日市駅まで、「私ひとり」の時代。何度か「廃止」の動きもあったが、現在まで「存続」している。信楽を経て、大阪への「未来計画」がある。



昭和初期の日野駅。バスやタクシーが並び



通勤客などであふれる昭和30年代

日野駅は1900(明治33)年に開業。駅舎は16(大正5)年に建てられ、ほぼ当時の姿をとどめている国内最古級の現役駅舎とされる。乗降客は1日約500人。周囲を山に囲まれた町にとって通学、通勤、観光の玄関口として欠かせない存在だ。

駅舎解体への懸念が噴出したのは、今年3月の町議会定例会がきっかけ。近江鉄道が昨年末、老朽化を理由に駅舎取り壊しを検討する方針を示したと、町が明らかにしたためだ。町企画振興課などによると、駅舎は雨漏りがあり、構造部分も劣化している。利用客の漸減傾向とともに外観面でも「さびれた駅」化が進んでいる。町は4月、住民や日野まちなみ保全会、町観光協会などをつくる日野駅利用促進活性化懇話会を設置。古民家改修を手掛ける設計事務所に依頼し、現駅舎を可能な限り保存した上で、新たな機能を持たせる再生プランをまとめた。

大正モダンの雰囲気はそのままに、駅舎の損傷部分を修復。現在は開放されていない部分にコミュニティスペースを設け、カフェや物産コーナー、観光案内所などの「憩いの場」とする方針を盛り込んだ。

(写真①は筆者、②③は近江日野商人館提供)



# 2015年度部活動実績

後援会総会資料から引用させていただきました。ただし、紙幅の関係上、記録以外の部分は省略させていただいたところがあります。

## ●レスリング部

2015年 JOCジュニアオリンピック選手権大会  
42kg 堀内 準優勝  
アジア大会出場 (インド)

## 春季総合体育大会

団体戦 3位  
個人戦 50kg 小泉 1位  
74kg 安井 2位  
60kg 小寺 3位  
120kg 奥田 1位  
66kg 富田 2位

## 2015年 近畿大会

団体戦出場  
個人戦 50kg 小泉 3位  
120kg 奥田 優勝

## 2015年 全国大会 (インターハイ)

50kg 小泉 1回戦敗退  
120kg 奥田 3回戦敗退

## 2015年 全国高校生グレコローマン選手権大会

120kg 奥田 5位

## 国民体育大会

55kg 小泉 1回戦敗退  
120kg 奥田 1回戦敗退

## 秋季総合体育大会

優勝 (2年連続22回目)  
個人戦 50kg 小泉 1位  
66kg 富田 2位

74kg 岸本 2位  
55kg 竹村 1位  
84kg 鶴田 1位  
安井 2位  
石井 2位  
小寺 2位

## 2015年 JOC・NTC近畿ブロック大会

カデット 42kg 堀内 1位  
ジュニア 50kg 岸本 2位

74kg 安岡 2位  
63kg 竹村 3位  
63kg 富田 2位

## 2015年 全国高等学校レスリング選抜大会近畿予選

団体戦 3位  
個人戦 50kg 小泉 5位  
74kg 竹村 6位  
55kg 鶴田 3位  
84kg 安井 4位  
60kg 小寺 6位  
120kg 奥田 5位

## 2015年 全国高等学校レスリング選抜大会

団体戦 対 飛龍 1回戦敗退  
個人戦 120kg 奥田 3位

## ●卓球部

滋賀県春季高校総体  
男子団体 ベスト8 → 近畿大会出場！  
男子ダブルス 相森・川崎組 ベスト16  
→ 近畿大会出場！

## 滋賀県民体育大会

男子団体 ベスト8

## ●男子バスケットボール部

春季高校総体  
1回戦 67-63 近江  
2回戦 51-78 虎姫

## 秋季高校総体

1回戦 53-55 大津商業  
新人大会  
1回戦 57-40 彦根翔陽  
2回戦 34-118 八幡工業

## ●女子バスケットボール部

春季高校総体  
2回戦 89-20 幸福の科学学園 関西  
3回戦 16-91 草津東

## 秋季高校総体

1回戦 0-20 信楽 (棄権)  
新人大会  
2回戦 24-78 大津

## ●硬式テニス部

春季高校総体  
【団体戦】  
1回戦 1-2 伊吹 (1回戦敗退)

## 【シングルス予選】

持田 2回戦 3-6 水口東 (2回戦敗退)  
吉澤 2回戦 3-6 立命館守山 (2回戦敗退)  
新海 2回戦 1-6 光泉 (2回戦敗退)  
藤澤 2回戦 0-6 守山北 (2回戦敗退)  
溝江、野口、中井、吉村、児玉、山添 (1回戦敗退)

## 【ダブルス予選】

吉澤・中井ペア 2回戦 6-7 長浜北星 (2回戦敗退)  
新海・児玉ペア 2回戦 0-6 膳所 (2回戦敗退)  
溝江・吉村ペア 持田・藤澤ペア  
山添・石原ペア 野口・高橋ペア  
上平・川崎ペア (1回戦敗退)

## 近畿大会滋賀県予選

【シングルス】  
吉村 3-6 北大津  
児玉 6-3 栗東  
溝江 1-6 堅田  
山添 1-6 近江  
川崎 1-6 東大津  
上平 3-6 石部  
石原 (不戦勝) 石部

## 【ダブルス】

吉村・溝江 1-6 国際情報  
児玉・山添 2-6 北大津  
高橋・野口 1-6 立命館守山  
石原・上平 1-6 石部

奥村・込山 6-7 長浜北星  
川崎・遠藤 1-6 立命館守山

## 秋季高校総体

【団体戦】  
日野 4-1 滋賀学園  
日野 0-5 立命館守山

## 【シングルス】

吉村 6-3 滋賀学園  
6-7 立命館守山  
児玉 6-3 彦根工業  
6-3 水口東  
0-6 光泉

高橋 6-3 彦根総合  
1-6 堅田  
山添 3-6 米原  
野口 3-6 伊吹  
上平 0-6 光泉  
石原 0-6 栗東  
奥村 3-6 八日市南

## ●野球部

## 【公式戦結果】

春季大会 2015.4.25  
1回戦 対 八幡 3対6 ●  
選手権大会 2015.7.13  
1回戦 対 栗東 7対0 ○  
2回戦 対 野洲 1対9 ●

秋季大会 2015.9.12  
1回戦 対 堅田 2対3 ●

2016年度はより質の高い野球を求め、結果にこだわって日々の活動を行っていききたいと思っています。

## ●ソフトテニス部女子

春季総体  
個人戦 4組出場 1組が県大会に出場  
団体戦 1回戦 日野 1-2 草津

## 県民体育大会

個人戦 3回戦敗退 1組  
2回戦敗退 2組  
1回戦 日野 0-3 安曇川

## 秋季総体

個人戦 2回戦敗退 2組  
1回戦敗退 2組  
団体戦 1回戦 日野 2-1 河瀬  
2回戦 日野 0-2 八幡商

## ●男子バレーボール部

春季高校総体  
(6月4日) サンビレッジ近江八幡  
予選グループ戦 1-2 守山  
敗者復活戦 1-2 八日市  
(1回戦敗退)

## 県民体育大会

(9月12日) 守山高校体育館  
1回戦 0-2 安曇川 (1回戦敗退)

## 秋季高校総体

(10月29日) サンビレッジ近江八幡  
予選グループ戦 1-2 瀬田工業  
日野 2-0 伊香  
決勝トーナメント 0-2 堅田  
新人大会 (2月7日) 草津高校体育館  
1回戦 0-2 瀬田工業

## ●女子バレーボール部

春季高校総体  
(6月4・5日) 草津市民体育館・近江八幡運動公園  
予選グループ戦 2-0 立命館守山  
決勝トーナメント  
1回戦 1-2 比叡山

## 県民体育大会

(9月12日) 大津商業高校  
1回戦 2-0 立命館守山  
2回戦 0-2 近江 (2回戦敗退)

## 秋季高校総体

(10月29、30日) 草津市民体育館  
予選グループ戦 2-0 彦根翔陽  
決勝トーナメント  
1回戦 0-2 東大津  
新人大会 (2月7日) 守山北高校  
1回戦 不戦勝 彦根翔陽  
2回戦 0-2 滋賀短大附属 (2回戦敗退)

## ●陸上競技部

平成27年度は3年生6名2年生2名1年生4名での活動となり春季・県体・ユース・秋季の年4回の大会に参加しました。100mHで準決勝進出はしましたが決勝進出は果たせませんでした。次年度は決勝進出できるよう、日々の練習を充実させ活気のある部活動にしていきたいと思っています。

## ●バドミントン部

春季総体  
団体戦 2-3 伊香  
個人戦  
【ダブルス】  
1回戦 中西・奥野 0-2 堅田  
1回戦 木村・吉田 0-2 八幡

## 【シングルス】

1回戦 中西 0-2 八幡  
奥野 0-2 安曇川  
木村 0-2 玉川  
吉田 0-2 能登川  
今井 1-2 湖南農

## 夏季県体

団体戦 1-4 近江  
秋季総体  
団体戦 1-4 湖南農

## ●サッカー部

男子 部員 3年生7名、2年生5名、1年生6名、マネージャー2名

## 戦績

春季 1回戦  
日野 1-3 滋賀学園 1回戦敗退  
県体 参加せず  
秋季 1回戦

日野 2-6 水口東 1回戦敗退  
県 2種リーグ3部リーグ  
前期 4勝2敗0分 勝ち点12  
第2位で後期上位リーグへ

後期 5勝2敗0分 勝ち点15  
第2位で2部リーグへ自動昇格

女子 部員 3年生2名、2年生0名、1年生0名

平成27年度は、昨年度同様部員2名での活動となりました。練習もままならず他校と合同チームを組むこともできない状況でしたが、サッカーに対する思いを失くことなく春季大会に補助役員として参加し、部活動を引退しました。

●音楽部  
7月 高校野球滋賀県大会開会式  
大会歌「栄冠は君に輝く」合唱で参加  
全国高等学校総合文化祭滋賀県大会  
総合開会式、合唱部門出場  
(合唱部門実行委員長 大沢宗太郎)  
NHK全国学校音楽コンクール滋賀県大会  
金賞受賞

9月 NHK全国学校音楽コンクール  
近畿ブロック大会 奨励賞受賞  
10月 滋賀県高等学校総合文化祭出場  
合唱部門 1位  
滋賀県芸術祭奨励賞受賞  
独唱部門 1位 大沢宗太郎  
3位 田中 優衣

重唱部門  
1位 竹村朱未・速水真希  
3位 向井睦・狩野南・坂田あゆみ・長田真歩

11月 日野高校文化祭出場  
12月 わたわき合唱祭出場  
2月 バレンタインコンサート出場  
全国高総文祭広島大会出場者  
オーディション (10名合格)

♪♪ 活動の状況 ♪♪  
47年に1度の全国高等学校総合文化祭が滋賀で開催された27年度、日野高校は合唱部会の中心的存在として活躍しました。3年生の大沢宗太郎君が合唱部門実行委員長を務め、部員全員が大会運営業務をこなしながら出演しました。全国の高中生とともに創り上げた大会で大きな感動を得ることができました。

Nコン県大会では2年連続で金賞を受賞し、独唱や重唱コンクールでも上位入賞者を多数出すことができました。部員数は増えませんが、28年度も素晴らしい歌声を届けられるよう、頑張っていきたいと思っています。

●放送部  
＜大会報告＞  
第62回 NHK杯全国高校放送コンテスト  
滋賀大会  
(6月4・5日) 大津市生涯学習センターにて  
朗読部門で1年生3名、2年生1名、3年生3名参加  
第35回 滋賀県高等学校総合文化祭  
(10月29日) 大津市生涯学習センターにて  
朗読部門で1年生5名、2年生1名参加  
＜その他の活動＞  
・校内放送  
・生徒会行事の音響、司会等の活動  
＜活動状況＞  
昨年度は、全国総文祭放送部門が栗東で行われたため、今年度はお休みになりました。4月から7月までは何年度も実行委員会に参加し、県内各校の放送部員との交流も深まりました。全国大会当日は、主に表彰のセクションで力を発揮できました。

また、昨年度まで朝の時間におこなってきた校内放送を、今年度はお休みに行いたいと試行しています。生徒会や各委員会からの連絡をしたり、音楽を流したりしていきたく。

●吹奏楽部  
6月 吹奏楽祭  
「サウンド オブ ミュージック メドレー」演奏  
滋賀県吹奏楽部コンクール予選  
「All Glory Told」演奏 銀賞

8月 中部日本吹奏楽部コンクール滋賀県大会  
「All Glory Told」演奏 銀賞 ハートフル賞  
9月 日野中学校吹奏楽部定期演奏会に出演  
高文祭「吹奏楽のための「風之舞」」  
「オーメンズ・オブ・ラヴ」演奏

1月 滋賀県アンサンブルコンテスト  
木管三重奏「トリプルアイズ」演奏 銀賞  
中部日本個人・重奏コンテスト滋賀県大会  
管打七重奏「キャンディ・ロボ」演奏 銀賞  
文化部合同発表会 (バレンタインコンサート (定期演奏会)) 必佐公民館

3月 日野ウィンドアンサンブル定期演奏会に出演  
★★ 活動状況 ★★  
2年生5名、3年生6名の計11人で活動しています。コンクールやアンサンブルコンテストでの金賞および上位大会出場を目指して、毎日練習に励んでいます。また地域の依頼演奏にも積極的に出演しています。その他にも昨年度は文化部合同発表会で物語をスクリーンに映しながら演奏をするなど新しい取り組みにもチャレンジしました。しかし、楽器が古くなく修理費がかさむことと部員不足が目下の悩みです。今後ともご支援や応援をよろしくお願いいたします。

●科学部  
毎週金曜日に活動しています。比較的簡単な準備でできる実験を中心に行いました。失敗もありましたが楽しく実験できました。文化祭では、ゆうれい試験管(硫黄を使った実験)という実験、組織培養、廃油キャンドルについての展示、また畑で栽培したサツマイモを使い、大学イモも作りをしました。2月には、必佐公民館での文化部の合同発表会で展示をしました。継続的な実験にもチャレンジしようという事で植物の組織培養(ニンジン)をしています。今年度は夏休みに、ダイニクアストロパーク天文館でも天体観測を予定しています。

＜おこなったこと＞  
マブラーグ ダイラタンシー 静電気の実験 サツマイモの栽培 サツマイモを使っ

ての料理 植物組織培養 ゆうれい試験管 廃油キャンドル 廃油石けん など

●茶華道部  
茶道部と華道部が合併し、茶華道部となって3年が過ぎました。毎週金曜日には、華道は末生流の芦田泰甫先生、茶道は裏千家の鑑桂子先生のご指導を受け、活動しています。昨年度の部員数は、1年生5人、2年生5人、3年生4人の合計14人でした。高校生となり、はじめに茶道や華道をたしなむ生徒も多く、講師の先生方に基礎からしっかり教わっています。活動を通して、日本文化に触れ感性を磨き、穏やかで有意義な時間を過ごしています。日頃の活動の発表の場として、昨年度は本校文化祭で、いけばな展と野点の席を設けました。たくさんの方々に楽しんでいただき、達成感を得ました。また、昨年度は滋賀県で全国高等学校総合文化祭が開催され、放送部門の会場で他校と合同の昼茶のおもてなしをし、校外での貴重な体験をしました。今後も地道な活動を続けてがんばっていきたいと思っています。

●PC部  
大会成績  
滋賀県高等学校ワープロ競技春季大会  
団体の部 第5位  
全国商業高等学校情報処理競技大会滋賀県大会  
団体の部 第4位  
個人の部 第2位 伊藤 (3年)  
※全国大会 (7月) 個人の部出場権を獲得  
第27回全国高等学校情報処理競技大会 (7月26日) 千葉県にて  
個人の部 伊藤 (3年) 出場  
全国高等学校IT・簿記選手権大会  
近畿・中国・四国ブロック  
団体の部 第14位  
滋賀県高等学校ワープロ競技秋季大会  
団体の部 第5位  
個人の部 第13位 木下 (2年)  
※近畿大会(来年度5月)個人の部出場権を獲得  
各種検定試験合格状況  
【国家試験】  
・基本情報技術者試験 1名  
・ITパスポート試験 1名  
【検定試験】  
・全商情報処理検定試験  
ビジネス情報部門1級 2名  
2級 4名  
プログラミング部門2級 1名  
・ビジネス文書実務検定試験1級 2名  
2級 2名  
速度部門1級 2名

●美術部  
★★ 活動報告 ★★  
8月 全国高等学校総合文化祭美術工芸部実行委員会として参加  
11月 滋賀県高等学校総合文化祭出場  
2月 日野町必佐公民館で作品展開催  
3月 成安造形大学で作品展開催  
★★ 活動状況 ★★  
毎週3日、主に滋賀県高等学校総合文化祭出品に向けての作品製作をしています。今年度も本校美術部の作品展を開催しました。また、成安造形大学をお借りして本校を中心に作品展を開催しました。

●文芸部  
校内活動としては、例年通り文芸誌「S toria」を4回発行。対外的には、びわこ総文に全力をかたむけたH27年度でした。

7月28日から31日まで、高島市で行われたびわこ総文に運営要員として参加。文学散歩びわこコースでは、船上でおもてなしの紙芝居を披露。全国から集まってきたみなさんから大きな拍手もいただき、一生の思い出になりました。

文化祭では、各自が創作絵本を手作りし展示しました。

●手芸部  
活動は、手芸部全体としては、水曜日と金曜日を中心に被服室でおこなってきました。

文化祭では、作品や活動の様子がわかる写真を模造紙で掲示発表をしました。

平成27年度では、生徒の作品である「毛糸で編んだ花飾り」や「フェルトで作ったタンポポ」「紙で作ったカーネーション」を学校に飾りました。

# 早い段階からのキャリア教育が必要

進路指導課 主任 楠 亀 博 美

就職は引き続き好調

現在の本校の進路状況につきまして報告させていただきます。まず、この3月に卒業した生徒の就職の状況ですが、就職希望者は学校幹旋が65名、公務に就いたものが1名、縁故等の学校幹旋以外が2名の計68名で、全員が無事就職できました。2年続けて前年度を上回る求人を探したき、特に製造業の生産業務にかかわる仕事を希望する生徒には余裕のある就職試験となりました。

今年度の県内求人は、求人数237件、求人数が293件で、求人数は前年度比の1.1倍、求人数は1.05倍となり、多くの求人を探したきことができました。

本校の生徒の多くは出来る限り地元企業に就職したいと考えております。学校といたしまして、このような生徒の希望に即して地元企業の求人開拓を一層進めていきたいと考えておりますので、同窓会員の皆様のお力添えをどうかよろしくお願いいたします。

幸せなことに、ここ数年は右肩上がりで多くの求人を探したきだけ状況が続いています。2012年の求人数が93件であったことからすると今年度は約2.5倍の増加率になっております。

高校生にとって求人数が増える「就職しやすい」自分にあつた仕事に就きやすくなるなど良い面がみられます。ただ、ここ数年の雇用情勢の変化から、働くことについてしっかり意識づけができていない生徒が一方、高校3年生になっても漠然と「進学する」「就職する」とだけしか考えていない生徒もいます。

現在は雇用の多様化が進み転職の時代といわれていますが、正規雇用で就職し、早期離職がないようにするための取り組みが高校の進路指導に求められています。生徒たちが働く意味をしつかりとらえ、自らの将来を見据え、どのような職業に就くのか、そのためにどのような進路選択が必要なのかなどの自分の将来の生活をイメージさせる学習（キャリア教育）を高校の早い段階から行う必要があると考えています。

本校でも、高校低学年すなわち1年生の段階から働くことや学ぶことの意味や意義を深めていく学習や外部講師による進路講話、地域社会と関わる取り組みとしてボランティア体験学習などを行っております。

## 早い段階から進学への意識づけ

次に進学についてですが、現在、高校教育、大学教育、大学入試が一体となった改革が行われようとしています。入試の形態も今まで以上に多様になり、その方向性をふまえ、柔軟で適切な対応が求められることとなります。個々の生徒が自分の特性を理解したうえで、

学校、学部だけでなく、どの入試形態で受験するかを決めることが求められています。そのために、低学年の段階から進学に対する意識づけを行い、しっかりと準備を行う必要があります。

その一つとして、進学の支援を目的としているアカデミック系列では放課後の補習の時間に系列独自の進路学習を実施し、学部、学科研究や入試研究を行っています。また、アカデミック以外で進学を希望する生徒に対しては、資格取得を進学につなげる取り組みを各系列と連携を取りながら実施しています。

就職、進学、それぞれにおいてミスマッチのない進路選択を生徒自身ができるように、きめ細かな指導をしていきたいと考えておりますので、同窓会会員の皆様におかれましては本校生徒の進路実現に向けてこれまでと同様のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## 編集後記

○日野駅改修（6面）がその後、新たな展開。「駅舎百周年記念イベント」が10月1日に行われ、満田良順さん（3面）が駅の歴史について講演。駅前共栄会などによるバザー、歌謡ショーなどで保存改修への雰囲気盛り上がりしました。11月着工で年度内完成に向けて全国の鉄道ファンなど一般からの寄付も募集中。詳細は町企画振興課へ。

○朝ドラ「とと姉ちゃん」の「暮らしの手帖」のような高い理想からではありませんが、本紙も広告を載せていません。発行協力金は大切な財源です。ぜひよろしく。

## 溪泉同窓会役員の紹介

本会の役員は2年任期のため、原則として昨年度の方に引き続き役員をお願いしています。

任期は平成29年3月までで、今改選の準備を進めています。新役員に立候補される方がございましたら、学校事務局までご連絡ください。自立候補を歓迎いたします。

## 溪泉同窓会歴代会長一覧（敬称略）

初代	1951～1955 (昭26～30)	*谷 雄治
2代	1956～1958 (昭31～33)	*高井 敏夫
3代	1959～1963 (昭34～38)	中川 良男
4代	1964～1965 (昭39～40)	*吉村 圭司
5代	1966～1968 (昭41～43)	*徳田 二郎
6代	1969～1974 (昭44～49)	*山口 達雄
7代	1975～2010 (昭50～平22)	住井 泰之
8代	2011～現在 (平23～)	門坂 剛

(\*印は故人)

進路区分		ビジネス	ヒューマン	マルチメディア	アカデミック	合計
進学	四年制大学	1	2	1	15	19
	短期大学	0	6	1	5	12
	専修・各種学校	6	5	9	14	34
	小計	7	13	11	34	65
就職	学校紹介	27	15	18	5	65
	自営・縁故・その他	1	0	1	0	2
	公務員	1	0	0	0	1
	小計	29	15	19	5	68
	就職地	町内	5	4	7	17
		県内	23	11	12	50
		県外	1	0	0	1
	職種	事務	6	2	1	10
		販売・サービス	2	1	0	3
		生産業務	19	10	16	49
		その他	2	2	0	6
	他	1	3	1	0	5
	合計	37	31	31	39	138